

令和 6 年 10 月期 (第 96 回) 番組審議会 議事録

- 1 開催日時 令和 6 年 10 月 17 日 (木) 午後 7 時 ~
- 2 開催場所 京都府京丹後市峰山町丹波 825 番地の 1
NPO 法人京丹後コミュニティ放送 1 階事務所内
- 3 委員の出席 委員総数 6 名
出席委員数 6 名
中村基彦、安田秀俊、角江眞由美、中江学、岡村さおり、今田弘一
放送事業側 阿辻凜太郎 (局長代理)、
出席者

4 開会

最近のおもな活動報告に続いて今後の活動予定の告知があった。
その後出欠確認と近況の活動報告がなされた
続いて、議長から議事録署名人に、安田秀俊氏と角江眞由美氏に依頼し了承が得られた。
番組審議に入る。

5 審議番組

フィラー放送番組「Music Jam Mart」

週間タイムテーブルをもとに阿辻氏から時間帯によるジャンル分けや 1 組のアーティストに絞った放送 (Pick Up Artist) をしている旨の報告あり。よりふさわしい放送プランがあるか審議委員に意見を求める。

審議での意見として、

(委員) クリスマスのような特別なシーズンに基づいた選曲はあまり好き嫌いの影響はないと思う

(委員) 自分たちの世代的になじんでいたフォークなどが流れるとほっこりする

逆に最新 J-POP のような派手で激しい曲が続けさまに流れると聞き続けるのがつらくなる

もっとアトランダムな選曲でもよいのでは？

(委員) かつて午後 3 時台、4 時台に演歌を流している時期があったが賛否両論の声が聞かれた

(委員) 今も演歌は流れているのか？

(局側) 池内晴子氏の番組「歌謡百彩」の中で扱うほか、スタッフの判断で土曜日の午前中などに流している

(委員) 午前中 10~11 時台にはどんなジャンルの曲が流れているのか？

(局側) 邦楽、洋楽問わず準新作の曲が流れている、11 時台は曜日によっては地元アーティストの曲を中心に流している

地元アーティストは多ジャンルにわたるので色々な曲が入り混じっている

(委員) アニメソングを 30 分続けて流すとなじみのないリスナーにはつらいのでは

(局側) アニメソングは土曜日 8 時 30 分からの「海の京都物語」でアニメの話題を取り上げているのに合わせてその前の 8 時からの時間帯で流している

(委員) 音楽だけの時間があるのは悪くないが、特定のアーティストだけで長時間構成するよりそのアーティストを基軸にして他のアーティストの曲も交えた方がいいのでは

(委員) どの時間帯にどんな曲が聴きたいのかリスナーからの意見も聞いてみたい

(局側) 「Pick Up Artist」については 15:00~16:30 の時間帯に 3 組のアーティストで構成されているがそれぞれの時間が長いという意見がある

(委員) 特定のアーティストに絞り込むのは 1 週間に 1 組くらいならばいいのでは

その他の番組について、以下の意見が述べられた

(委員)「海の京都物語」のトーク中のBGMが大きくてトークが聞き取りづらい

(委員)「いなかもんログンロール・レディオ」のトークでの方言がきつく普段使わないような方言を無理やり使っているような印象を受ける

(委員) 同じく方言を多用した「コッチョリーナのフレンズラジオ」は聞きやすく内容も面白い

最後に年末年始の特番の企画に際してどのような内容で構成すべきかを委員の皆さんに相談してみたところ

・ジャンル関係なしにひたすら音楽を流し、場合によってはニュース、気象情報などを割り込み放送する

・過去に年越しカウントダウンの番組を放送したことがあったが特定のリスナーは聞いてくれるもののやはりテレビの需要の方が大きい

等の意見があった

以上、閉会となる

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 令和 年 月 日 () 当局事務所に掲示

② 令和 年 月 日 () 「たんご・モーニング・サンド！」

番組内において放送

③ 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし

令和 6 年 10 月 17 日

上記のとおり相違ないことを確認する。

署名人

宇田 智俊



署名人

角江 真由美

